令和2年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【C区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
G・I・J	音楽	オーケストラ等	[C区分]京都フィルハーモニー室内合奏団	○	○	○	○	夢いっぱいコンサート(小学生)中学生のためのクラシックコンサート～体感！「オーケストラの魅力」(中学生)	(小学生) ※別途中学校用プログラム有 ●ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」/ ロッシーニ作曲(金澤恭典編曲) (省略) ●ポストホルンギャロップ/ケーニッヒ作曲(金澤恭典編曲) ●オペラ「カルメン」より抜粋/ ビゼー(金澤恭典編曲) ・前奏曲～アラゴネーズ～ハバネラ(歌)～闘牛士のうた(トランペット独奏) 等 【アンコール】憂いもなく/ ヨゼフ シュトラウス作曲(前田肇編曲) 他	
G・H・I	演劇	児童劇	[C区分]劇団風の子九州	○	○	○	-	「あっかんべー！」は勇気の言葉(「やだ、やだ あっかんべー！」公演)	やだ、やだ あっかんべー！ 作・演出 / あさのゆみこ 音楽・効果 / 曲尾友克 美術 / あさのゆみこ	

【A区分・B区分団体】

G	音楽	オーケストラ等	名古屋フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	Let's Challenge the Orchestra！～オーケストラと一緒に様々なことにチャレンジしよう～	1. ビゼー:歌劇『カルメン』組曲より「闘牛士」 (省略) 8. <指揮者体験>ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 9. ホルスト[山本直人編]:組曲『惑星』より「木星」 10. 青谷良明編曲:各校校歌 他	
G	音楽	オーケストラ等	東京佼成ウインドオーケストラ	○	○	○	○	音楽の全てを体感！共感！大作戦！	①【金管楽器の原点】第一旋法による8声部のカンツォーナ (G. ガブリエリ) ②【木管楽器の原点】セレナーデ第10番「グラン・パルティータ」より(W. A. モーツァルト) ③ ファンファーレとアレグロ (C. ウィリアムズ) (省略) ⑧ 歌劇「ローエングリン」より エルザの大聖堂への行列(R. ワーグナー) <アンコール> 校歌 他	
G	演劇	児童劇	民族芸能アンサンブル若駒	○	○	○	-	ずっこけ狂言ばなしどろピカぽん	「柿とやまぶし」「かみなり」 「みんなでたいけん狂言ワークショップ」「二人ばかま」 原作:狂言「柿山伏」「神鳴」「二人袴」 翻案:松本則子 演出:松本則子	
G	演劇	児童劇	人形劇団京芸	○	○	○	-	人形劇公演『とどろヶ淵のメッケ』	『とどろヶ淵のメッケ』 【原作】富安陽子『とどろヶ淵のメッケ』(佼成出版社刊) 【脚色・演出】北村直樹(人形芝居ひつじのカンパニー) 【美術】清水正年 【音楽】ノノヤママナコ(マナコ・プロジェクト) 【照明】尾鷲武志 【人形製作】人形劇団京芸 【舞台装置製作】吉田貴志(ヨシダ人形劇)・人形劇団京芸 【制作】山本いずみ	
G	演劇	演劇	東京演劇アンサンブル	-	-	○	○	音楽劇 消えた海賊	音楽劇 消えた海賊 広渡常敏／作 林光／音楽 上演台本／公家義徳 演出／公家義徳 振付／菊地尚子 舞台美術／池田ともゆき 衣裳／稲村朋子	
G	演劇	ミュージカル	劇団ショーマンシップ	○	○	○	○	現代の子供たちへ伝えたい！世界名作劇場	ノートルダム物語 ☆原作 ヴィクトル・ユゴー ☆脚色・演出 市岡洋 ☆音楽 山浦弘志 ☆振付 近藤勇人 ☆パントマイムコーディネート TEN-SHO	
G	舞踊	バレエ	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団	○	○	○	○	貞松・浜田バレエ団『子供のためのバレエ鑑賞会』	〔1〕エグゼルシス(バレエ教室) ヘンデル曲 /〔6〕日本のバレエ『祭』 中村茂隆選曲 等 ※小学校用 中学校用 プログラムあり	
G	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益社団法人 観世九皐会	○	○	○	○	能楽を学んでみよう	① 能「土蜘蛛」(半能形式 ・ 全2幕のうち後半の第2幕を上演) ② 狂言「柿山伏」	R1 (継続)
G	伝統芸能	邦楽	有限会社 古典空間	-	-	○	○	三味線ナビ♪～聴いて納得、観て楽しい、三味線ワールド～	① 三味線おもしろトーク ② 沖縄の三味線<三線(さんしん)>演奏 ③ 体験コーナー 「三味線にチャレンジ！」 ④ 日本の三味線part.1<長唄・細棹三味線>演奏 ⑤ 日本の三味線part.2<義太夫・太棹三味線>演奏 ⑥ 日本の三味線part.3<津軽三味線・太棹>演奏 ⑦ 三種類の三味線大合奏！ ⑧「三味線と合唱(合奏)しよう！」	
G	伝統芸能	邦舞	公益社団法人日本舞踊協会	○	○	○	○	「ひらけ！日本舞踊のとびら」	常磐津(ときわず)「京(きょう)人形(にんぎょう)」 初演1847年(弘化4年5月江戸河原崎座) プログラム構成・演出・振付・脚本:(公社)日本舞踊協会学校公演委員会	
G	伝統芸能	演芸	ちびっ子寄席 みんなで作り参加する みんなの寄席	○	○	○	○	ちびっ子寄席	はじめて出会う東西寄席 みんなで作り参加する みんなの寄席 ①一番太鼓で入場(代表児童・生徒による参加コーナー) ②東西演芸博物館 探訪 ③落語教室・寄席囃子 紹介 ④上方落語 ⑤仲入り(休憩) ⑥なぞかけ(代表児童・生徒による参加コーナー)⑦色物 ⑧江戸落語 ⑨みんなでかっぽれ(児童・生徒による参加コーナー)	

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から，「R1」の記載がある団体は令和元年度から，「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.htmlから、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

		C区分団体		A・B区分団体										
		K125	K124	G73	G74	G75	G76	G77	G78	G79	G83	G80	G81	G82
		京都フィル ハーモニー 室内合奏団	劇団鳳の子九州	名古屋フィル ハーモニー 交響楽団	東京佼成ウインドオーケストラ	民族芸能 アンサンブル 若駒	人形劇団京芸	東京演劇 アンサンブル	劇団ショーマンシップ	一般社団法人 貞松・浜田 バレエ団	公益社団法人 観世九皐会	有限会社 古典空間	公益社団法人 日本舞踊協会	ちびっ子寄席 みんなで作り 参加する みんなの寄席
巡回ブロック		G・H・I	G・I・J	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G
項目		オーケストラ等	児童劇	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	邦舞	演芸
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	あり	なし	なし	なし	なし
6月1日	月						○			移	○			○
6月2日	火						○			○	○			○
6月3日	水						●			○	○			○
6月4日	木						○			○	○			○
6月5日	金						○			○				○
6月6日	土						●							
6月7日	日		移				移				移			移
6月8日	月		○				○			移	○			○
6月9日	火		○				○			○	○			○
6月10日	水		○				●			○	○			○
6月11日	木		○				○			○	○			○
6月12日	金		○				○			○				○
6月13日	土						●							
6月14日	日	移					移				移			移
6月15日	月	○	○							移	○			○
6月16日	火	○	○							○	○			○
6月17日	水	○	○							○	○			○
6月18日	木	○	○							○	○			○
6月19日	金	○	○							○	○			○
6月20日	土													
6月21日	日										移			移
6月22日	月		○	移						移	○			○
6月23日	火		○	○						○	○			○
6月24日	水		○	○						○	○			○
6月25日	木		○	○						○	○			○
6月26日	金		移	●						○	○			○
6月27日	土													
6月28日	日										移			移
6月29日	月										○			○
6月30日	火										○			○
7月1日	水		○								○			○
7月2日	木		○								○			○
7月3日	金		○								○			○
7月4日	土													
7月5日	日				移						移			移
7月6日	月		○		○						○			○
7月7日	火		○		○						○			○
7月8日	水		○		○						○			○
7月9日	木		移		○						○			○
7月10日	金				●									○
7月11日	土													
7月12日	日										移			移
7月13日	月	移									○			○
7月14日	火	○									○			○
7月15日	水	○									○			○
7月16日	木	○									○			○
7月17日	金	○												○
7月18日	土	○												
7月19日	日	○												
7月20日	月	○												
7月21日	火	○												
7月22日	水	○												
7月23日	木	○												
7月24日	金	○												
7月25日	土	○												
7月26日	日	○												
7月27日	月	○												
7月28日	火	○												
7月29日	水	○												
7月30日	木	○												
7月31日	金	○												
8月1日	土	○												
8月2日	日	○												
8月3日	月	○												
8月4日	火	○												
8月5日	水	○												
8月6日	木	○												
8月7日	金	○												
8月8日	土	○												
8月9日	日	○												
8月10日	月	○												
8月11日	火	○												
8月12日	水	○												
8月13日	木	○												
8月14日	金	○												
8月15日	土	○												
8月16日	日	○												
8月17日	月	○												
8月18日	火	○												
8月19日	水	○												
8月20日	木	○												
8月21日	金	○												
8月22日	土	○												
8月23日	日	○												
8月24日	月										○			○
8月25日	火										○			○
8月26日	水										○			○
8月27日	木										○			○
8月28日	金													○
8月29日	土													
8月30日	日													移
8月31日	月					●								○

		C区分団体		A・B区分団体										
		K125	K124	G73	G74	G75	G76	G77	G78	G79	G83	G80	G81	G82
		京都フィルハーモニー室内合奏団	劇団鳳の子九州	名古屋フィルハーモニー交響楽団	東京佼成ウインドオーケストラ	民族芸能アンサンブル若駒	人形劇団京芸	東京演劇アンサンブル	劇団ショーマンシップ	一般社団法人貞松・浜田バレエ団	公益社団法人観世九皐会	有限会社古典空間	公益社団法人日本舞踊協会	ちびっ子寄席みんなで作り参加するみんなの寄席
巡回ブロック		G・H・I	G・I・J	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G
項目		オーケストラ等	児童劇	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	邦舞	演芸
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	あり	なし	なし	なし	なし
9月1日	火					○								○
9月2日	水					○					移			○
9月3日	木					○					○			○
9月4日	金					○					○			○
9月5日	土													
9月6日	日	移									移			移
9月7日	月	○				○					○			○
9月8日	火	○				○					○			○
9月9日	水	○				○					○			○
9月10日	木	○				○					○			○
9月11日	金	○				○								○
9月12日	土													
9月13日	日	移			移				移		移			移
9月14日	月	○		移	○	○			○		○			○
9月15日	火	○		○	○	○			○		○			○
9月16日	水	○		○	○				○		○			○
9月17日	木	○		○	○				○		○			○
9月18日	金	○		○	●				○		○			○
9月19日	土			移										
9月20日	日													
9月21日	月													
9月22日	火								移					移
9月23日	水								○					○
9月24日	木								○					○
9月25日	金								○					○
9月26日	土								●					
9月27日	日	移					移		●		移			移
9月28日	月	○					○		○		○			○
9月29日	火	○					○		○		○			○
9月30日	水	○					●		○		○			○
10月1日	木						○		○		○			○
10月2日	金						○		○		○			○
10月3日	土						●		●					
10月4日	日	移	移				移		●		移			
10月5日	月	○	○				○		○		○			
10月6日	火	○	○		移		○		○		○			
10月7日	水	○	○		○		●		○		○			
10月8日	木	○	○		○		○		○		○			
10月9日	金	○	○		●		○		○					
10月10日	土						●		●					
10月11日	日						移		●		移			
10月12日	月		○			●	○		○		○			
10月13日	火		○			○	○		○		○			
10月14日	水		○			○	●		○		○			
10月15日	木		移			○	○		○		○			
10月16日	金					○	○		○		○			
10月17日	土						●							
10月18日	日						移				移			
10月19日	月					○					○	○		
10月20日	火					○					○	○	移	
10月21日	水					○					○	○	○	
10月22日	木					○					○	○	○	
10月23日	金					○						○	○	
10月24日	土													
10月25日	日	移		移							移		移	
10月26日	月	○		○							○	○	○	
10月27日	火	○		●							○	○	○	
10月28日	水	●									○	○	●	
10月29日	木										○	○	○	
10月30日	金										○	○	○	
10月31日	土													
11月1日	日												移	
11月2日	月					○							○	
11月3日	火										移		移	
11月4日	水					○					○		○	
11月5日	木					○					○		○	
11月6日	金					○							○	
11月7日	土													
11月8日	日	移									移		移	
11月9日	月	○				○					○	○	○	
11月10日	火	○				○					○	○	○	
11月11日	水	○				○					○	○	○	
11月12日	木	○				○					○	○	○	
11月13日	金	○				○					○	○		
11月14日	土													
11月15日	日	移									移			
11月16日	月	○									○	○		
11月17日	火	○									○	○		
11月18日	水	○									○	○		
11月19日	木	○									○	○		
11月20日	金	○										○		
11月21日	土													
11月22日	日													
11月23日	月								移		移			
11月24日	火					○			○		○	○		
11月25日	水					○			○		○	○		
11月26日	木					○			○			○		
11月27日	金					○			○			○		
11月28日	土								●					
11月29日	日	移	移		移				●		移			移
11月30日	月	○	○		○	○		○	○		○	○		○

		C区分団体		A・B区分団体										
		K125	K124	G73	G74	G75	G76	G77	G78	G79	G83	G80	G81	G82
		京都フィル ハーモニー 室内合奏団	劇団風の子九州	名古屋フィル ハーモニー 交響楽団	東京佼成ウイン ドオーケストラ	民族芸能 アンサンブル 若駒	人形劇団京芸	東京演劇 アンサンブル	劇団ショーマン シップ	一般社団法人 貞松・浜田 バレエ団	公益社団法人 観世九皐会	有限会社 古典空間	公益社団法人 日本舞踊協会	ちびっ子寄席 みんなで作り 参加する みんなの寄席
巡回ブロック		G・H・I	G・I・J	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G
項目		オーケストラ等	児童劇	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	邦舞	演芸
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	あり	なし	なし	なし	なし
12月1日	火	○	○		○	○		○	○		○	○		○
12月2日	水	○	○		○	○		○	○		○	○		○
12月3日	木	○	○		○	○		○	○			○		○
12月4日	金		○		○	○		○	○			○		○
12月5日	土							○	●					
12月6日	日							●	●		移			移
12月7日	月		○		○			○	○		○	○		○
12月8日	火		○		○			○	○		○	○		○
12月9日	水		○		○			○	○		○	○		○
12月10日	木		○		○			○	○		○	○		○
12月11日	金		○		●			○	○			○		○
12月12日	土		移					○	●					
12月13日	日							●	●		移			移
12月14日	月							○	○		○			○
12月15日	火							○	○		○			○
12月16日	水							○	○					○
12月17日	木							○	○					○
12月18日	金							○	○					○
12月19日	土							○						
12月20日	日							●			移			移
12月21日	月							○			○			○
12月22日	火							○			○			○
12月23日	水							○			○			○
12月24日	木							○			○			○
12月25日	金										○			○
12月26日	土													
12月27日	日													
12月28日	月													
12月29日	火													
12月30日	水													
12月31日	木													
1月1日	金													
1月2日	土													
1月3日	日										移			
1月4日	月										○			移
1月5日	火										○			○
1月6日	水										○			○
1月7日	木										○			○
1月8日	金										○			○
1月9日	土													
1月10日	日													
1月11日	月										移			移
1月12日	火										○			○
1月13日	水										○			○
1月14日	木										○			○
1月15日	金										○			○
1月16日	土													
1月17日	日						移				移			移
1月18日	月						○				○			○
1月19日	火						○				○			○
1月20日	水						●				○			○
1月21日	木						○				○			○
1月22日	金						○				○			○
1月23日	土						●							
1月24日	日	移					移				移			移
1月25日	月	○									○			○
1月26日	火	○									○			○
1月27日	水	○									○			○
1月28日	木	○									○			○
1月29日	金	○												○
1月30日	土													
1月31日	日													

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，[オーケストラ等]，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎･能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ [Ｃ区分]

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　[あ り] ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
[(2)] 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん　きょうとふぃるはーもにーしつないがっそうだん 特定非営利活動法人　京都フィルハーモニー室内合奏団		
代表者職･氏名	理事長　田中美幸		
制作団体所在地 (最寄り駅･バス停)	〒604-8135　京都市中京区東洞院通三条下る 三文字町 200 番地 ミックナカムラ 303 号室（京都市営地下鉄「烏丸御池」駅）		
電話番号	075-212-8275	ＦＡＸ番号	075-212-8277
ふりがな 公演団体名	きょうとふぃるはーもにーしつないがっそうだん 京都フィルハーモニー室内合奏団		
代表者職･氏名	理事長　田中美幸		
公演団体所在地 (最寄り駅･バス停)	〒604-8135　京都市中京区東洞院通三条下る 三文字町 200 番地 ミックナカムラ 303 号室（京都市営地下鉄「烏丸御池」駅）		
制作団体設立年月	1972 年　5 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長：田中美幸 理事：岡島一成、木村守、 深尾昌峰、小林明、越川雅之、西田二郎、内田義行、 内田双喜、増永理彦	正会員：田中美幸、松田学、岡島一成、木村守、深尾昌峰、小林明、越川雅之、森本真裕美、松田美奈子、市川えり子、岸さやか、村井博之、越川雅之、小林明、内田義行、西田二郎、増永理彦、増永のり子、児玉幸子、中西京子、湊健太郎、内田双喜、安本昌美、村田真生 正会員加入条件:積極的に活動を推進する音楽家と音楽に関心のある個人､総会における議決権を有する者。	
事務体制の担当	[専任] ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	田中美幸
経理処理等の監査担当の有無	[有] ・ 無	経理責任者名	湊健太郎

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1972年5月　京都フィルハーモニー室内合奏団 創立。
1979年5月　有限会社 京都フィルハーモニー室内合奏団 成立。
平成2年度　藤堂音楽賞受賞。
2000年1月　特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団 認証。
2002年10月　イタリアツアーで好評を博す。
平成14年度　京都新聞大賞文化学術賞受賞。
2006年～　社団法人 日本オーケストラ連盟準会員。
2012年5月　創立40年を迎える。
2014年4月　音楽監督に齊藤一郎を迎える。
2015年度　第3回ウィーンフィル&サントリー音楽復興祈念賞受賞
2016年度　佐川吉男音楽賞奨励賞受賞。
2017年5月　創立45周年を迎える。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">1972 年創立以来、小学校公演延べ 3000 校、約 190 万人の生徒が鑑賞。
2003 年度から毎年年３回、京都コンサートホールでファミリーコンサートを主催
19 年間、佐賀県唐津市肥前町で「早春コンサート」を継続実施（毎年 2 月）。
関西公共ホールにて 0 歳児からのコンサートを毎年、多数実施。
京都府内および京都市内小学校で多数公演。
2014 年伊丹市立小学校全校を巡回公演（17 校）。
2012 年、2014 年、鳥取県内小学校にて巡回公演（10 校）。
2012 年度より毎年京都府「次世代文化継承・発展」事業に参加。2014 年 2016 年 2018 年福井県全県小学生音楽鑑賞会実施
（セントラル愛知交響楽団との合同演奏）
2018 年度滋賀県栗東市全小学校音楽鑑賞会実施。
毎年京都府内 3～4 ケ所の支援学校で鑑賞会を実施。
長岡京市、京都市で中学校吹奏楽部のクリニックを実施。
平成 30 年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業「和歌山県、三重県地方の子どものための舞台芸術による地域交流の場づくりと巡回公演」</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">毎年、中丹支援学校、丹波支援学校、八幡支援学校、向日が丘支援学校、城陽支援学校（いずれも京都府立）にて公演およびワークショップを実施。文化庁巡回公演でも各地支援学校で演奏。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>[有] ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ [無]</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://www.youtube.com/watch?v=Co2T3zJaxdc</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>[有] ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内容　　【公演団体名　京都フィルハーモニー室内合奏団　】

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	夢いっぱいコンサート
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	●ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」/ ロッシーニ(金澤恭典編曲)【4分】 ●楽器紹介【10分】 ●アイネ・クライネ・ナハトムジークより 第一楽章 / モーツァルト【4分】 ●ずいずいずっころばし童謡(木管五重奏版)(柏原賢編曲)【4分】 ●魔法使いの弟子(語り付)/ デュカス(イアン ファリントン編曲)【15分】 【休憩】【15分】 ●【共演 オーケストラ伴奏で合唱】【5分】 「気球にのってどこまでも」「翼をください」「花」「ふるさと」の中から選曲 ●【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】【4分】 ●ポストホルンギャロップ/ケーニッヒ(金澤恭典編曲) ●オペラ「カルメン」より抜粋/ ビゼー(金澤恭典編曲)【20分】 ・前奏曲～アラゴネーズ～ハバネラ(歌)～闘牛士のうた(トランペット独奏)～ジプシーの踊り 【アンコール】憂いもなく/ ヨゼフ シュトラウス(前田肇編曲)【3分】 ※コンサート終了後、弦楽器を児童のみなさんに体験していただきます。(10分) 公演時間（コンサート：休憩を含み90分＋弦楽器体験10分）

著作権		制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる	○	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許　諾の有無

演　目　概　要	●ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」/ ロッシーニ(金澤恭典編曲) 当時ベートーヴェンより人気があったと言われている、イタリアの作曲家ロッシーニの代表的オペラ「ウィリアムテル」序曲より、トランペットのファンファーレで始まる軽快な曲をお聴きいただきます。テレビでもよく流れていて親しまれている名曲です。 ●楽器紹介【10分】各楽器の音色や形の違いや名前を覚えましょう！また一緒に演奏するとどんな響きになるのかもよく聴きましょう。 ●アイネ・クライネ・ナハトムジークより 第一楽章 / モーツァルト【4分】 神童と呼ばれ、3歳で作曲した天才、モーツァルトを代表する名曲です。日本語で「小夜曲」と呼ばれています。弦楽器だけで演奏します。 ●ずいずいずっころばし童謡(木管五重奏版)(柏原賢編曲)【4分】 弦楽器だけの曲の後は、管楽器だけで日本の曲をお聴きいただきます。モーツァルトが活躍した18世紀の古典派の時代に誕生した楽器編成で、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルンの構成です。 ●魔法使いの弟子(語り付)/ デュカス(イアン ファリントン編曲)【15分】 ドイツの文豪ゲーテが書いた物語を、フランスの作曲家デュカスが音楽で表した名曲です。魔法使いの留守中に、見習いの弟子が魔法を使ってホウキに水汲みをさせるが、止め方を習っていないので洪水に・・・・。 楽しい語り付で絵を見ているよう。 ●【共演 オーケストラ伴奏で合唱】【5分】 「気球にのってどこまでも」「翼をください」「花」「ふるさと」の中から選曲 ●【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】【4分】 いつもピアノ伴奏で歌っている学校の校歌をオーケストラ伴奏で歌いましょう。 ●ポストホルンギャロップ/ケーニッヒ(金澤恭典編曲) 郵便が到着したことを知らせる、昔の楽器ポストホルンを使って演奏します。 でも、もう一つ楽器が登場！ポストホルンとホウキのラッパで掛合いながら演奏します。日常生活で使う道具を楽器にしました。 ●オペラ「カルメン」より抜粋/ ビゼー(金澤恭典編曲)【20分】 現在も世界中で一番上演されているオペラ「カルメン」から何曲か有名な曲を抜粋して演奏します。歌や、トランペットの独奏を、織り交ぜながらお聴きいただきます。
演目選択理由	■公演前半＝冒頭はファンファーレから始まり、各楽器を紹介し、オーケストラとは？という興味を持っていただきます。室内オーケストラの多様な編成にふさわしい楽曲を選曲しました。 特にイギリスの作曲家ファリントンによる編曲の「魔法使いの弟子」は秀逸です。 ■公演後半＝この事業の重要な要素である子どもたちとの共演を行います。1）室内オーケストラの伴奏で子どもたちの合唱と共演します。またオーケストラ伴奏で児童全員での校歌斉唱は学校の先生の指揮により、より感動的になります。 最後に最も有名なオペラを聴くことにより、クラシック音楽の醍醐味を味わっていただけます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	1）合唱とオーケストラとの共演。 2）オーケストラ伴奏での校歌斉唱。 3）公演終了後に、児童対象に弦楽器を体験してもらいます。
出　演　者	歌手（司会）1名、第一ヴァイオリン2名、第二ヴァイオリン1名、ヴィオラ1名、チェロ1名、コントラバス1名、フルート1名、オーボエ1名、クラリネット1名、ファゴット1名、ホルン1名、トランペット１名、トロンボーン1名、打楽器1名　計15名

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　15 名 スタッフ:　3 名 合　計:　18 名	機 材 等 運搬方法	積載量　2t 車 長　6.5m 台 数　1 台

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	中学生のためのクラシックコンサート～体感！「オーケストラの魅力」
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	●ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」/ ロッシーニ作曲(金澤恭典編曲)【4分 ●楽器紹介【10分】 ●ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ ヴィヴァルディ作曲【4分】 ●木管五重奏のための「3つの小品」より 第一楽章/ イベール作曲【3分】 ●魔法使いの弟子(ナレーションつき)/ デュカス作曲(ファリントン編曲)【15分 ●【休憩】【15分】 ●【共演 オーケストラ伴奏で合唱】【5分】 「気球にのってどこまでも」 「翼をください」「花」「ふるさと」の中から選曲 ●【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】【4分】 ●ポストホルンギャロップ/ケーニッヒ作曲(金澤恭典編曲) ●オペラ「カルメン」より抜粋/ ビゼー(金澤恭典編曲)【20分】 ・前奏曲～アラゴネーズ～ハバネラ(歌)～闘牛士のうた(トランペット独奏)～ジプシーの踊り 【アンコール】憂いもなく/ ヨゼフ シュトラウス作曲(前田肇編曲)【3分】 公演時間(コンサート休憩を含み90分＋質問コーナー10分)
著作権	制作団体が所有 ○ 制作団体以外が所有する事項が含まれる 有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許　諾の有無
演　目　概　要	●ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」/ ロッシーニ(金澤恭典編曲) 当時ベートーヴェンより人気があったと言われている、イタリアの作曲家ロッシーニの代表的オペラ「ウィリアムテル」序曲より、トランペットのファンファーレで始まる軽快な曲をお聴きいただきます。テレビでもよく流れていて親しまれている名曲です。 ●楽器紹介【10分】各楽器の音色や形の違いや名前を覚えましょう！また一緒に演奏するとどんな響きになるのかもよく聴きましょう。 ●ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ ヴィヴァルディ作曲【4分】 描写音楽の先駆けとなった曲で、日本でも古くから愛聴されている名曲です。弦楽器だけで演奏しますが、技巧的なヴァイオリンソロが小鳥の鳴く声や嵐を表現します。 ●木管五重奏のための「3つの小品」より 第一楽章/ イベール作曲【3分】 弦楽器だけの曲の後は、木管五重奏の編成の曲をお聴きいただきます。楽器編成は、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルンです。イベールは生粋のパリ人で、フランスのエスプリの効いた、おしゃれな曲を作っています。 ●魔法使いの弟子(語り付)/ デュカス(イアン ファリントン編曲)【15分】 ドイツの文豪ゲーテが書いた物語を、フランスの作曲家デュカスが音楽で表した名曲です。魔法使いの留守中に、見習いの弟子が魔法を使ってホウキに水汲みをさせるが、止め方を習っていないので洪水に・・・・ 楽しい語り付で絵を見ているよう。 ●【共演 オーケストラ伴奏で合唱】【5分】 「気球にのってどこまでも」 「翼をください」「花」「ふるさと」の中から選曲 ●【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】【4分】 いつもピアノ伴奏で歌っている学校の校歌をオーケストラ伴奏で歌いましょう。 ●ポストホルンギャロップ/ケーニッヒ(金澤恭典編曲) 郵便が到着したことを知らせる、昔の楽器ポストホルンを使って演奏します。 でも、もう一つ楽器が登場！ポストホルンとホウキのラッパで掛合いながら演奏します。日常生活で使う道具を楽器にしました。 ●オペラ「カルメン」より抜粋/ ビゼー(金澤恭典編曲)【20分】 現在も世界中で一番上演されているオペラ「カルメン」から何曲か有名な曲を抜粋して演奏します。歌や、トランペットの独奏を、織り交ぜながらお聴きいただきます。
演目選択理由	■公演前半＝冒頭はファンファーレから始まり、各楽器を紹介し、オーケストラとは？という興味を持っていただきます。室内オーケストラの多様な編成にふさわしい楽曲を選曲しました。特にイギリスの作曲家ファリントンによる編曲の「魔法使いの弟子」は秀逸です。 ■公演後半＝この事業の重要な要素である子どもたちとの共演を行います。 1) 室内オーケストラの伴奏で子どもたちの合唱と共演します。またオーケストラ伴奏で生徒全員での校歌斉唱は学校の先生の指揮により、より感動的になります。 最後に最も有名なオペラを聴くことにより、クラシック音楽の醍醐味を味わっていただけます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	1) 合唱とオーケストラとの共演。 2) オーケストラ伴奏での校歌斉唱。 3) 公演終了後に、質問コーナーをもうけて、演奏者と交流してもらいます。
出　演　者	歌手（司会）1名、第一ヴァイオリン2名、第二ヴァイオリン1名、ヴィオラ1名、チェロ1名、コントラバス1名、フルート1名、オーボエ1名、クラリネット1名、ファゴット1名、ホルン1名、トランペット１名、トロンボーン1名、打楽器1名　計15名　別紙メンバー表あります
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　15 名 スタッフ:　3 名 合　　計:　18 名
機 材 等 運搬方法	積載量　2t 車 長　6.5m 台 数　1 台

【公演団体名　京都フィルハーモニー室内合奏団　　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ ㊡) 会場設営の所要時間(　　1時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>9:00</td><td>セッティング 9:00～10:00
リハーサル　11:00</td><td>本公演
13:30～15:00
弦楽器体験/小
（質問コーナー/中）
15:00～15:15</td><td>15分</td><td>15時15分～16時</td><td>16時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>～150名</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>～500名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">・歌手1名、ピアニスト1名、司会兼スタッフ1名の計3名を派遣する。
・ワークショップの最初に、京フィルメンバーによるミニコンサートを実施する。
・本公演に向けて、発声、合唱練習を行う。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td colspan="2">プロ演奏者の的確な指導とアドヴァイスで児童、生徒たちの演奏レベル、並びに感受性の向上を図る。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">緻密な打ち合わせをもとに各学校の実情にあった進行をはかり、児童生徒一人一人の実情や到達点に合わせた工夫を行います。過去本事業において、ヴァイオリン体験や合唱共演を行った実績があります。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

【公演団体名　京都フィルハーモニー室内合奏団　】

C区分出演者（予定）

歌、司会	西村薫	フルート	市川 えり子
第一ヴァイオリン	森本 真裕美	オーボエ	岸 さやか
	角田 博之	クラリネット	松田 学
第二ヴァイオリン	青山 朋永	ファゴット	奥山 紀子
ヴィオラ	松田 美奈子	ホルン	山本 愛沙子
チェロ	石 豊久	トランペット	立石 史樹
コントラバス	上野 泰歳	トロンボーン	村井 博之
		打楽器	越川 雅之

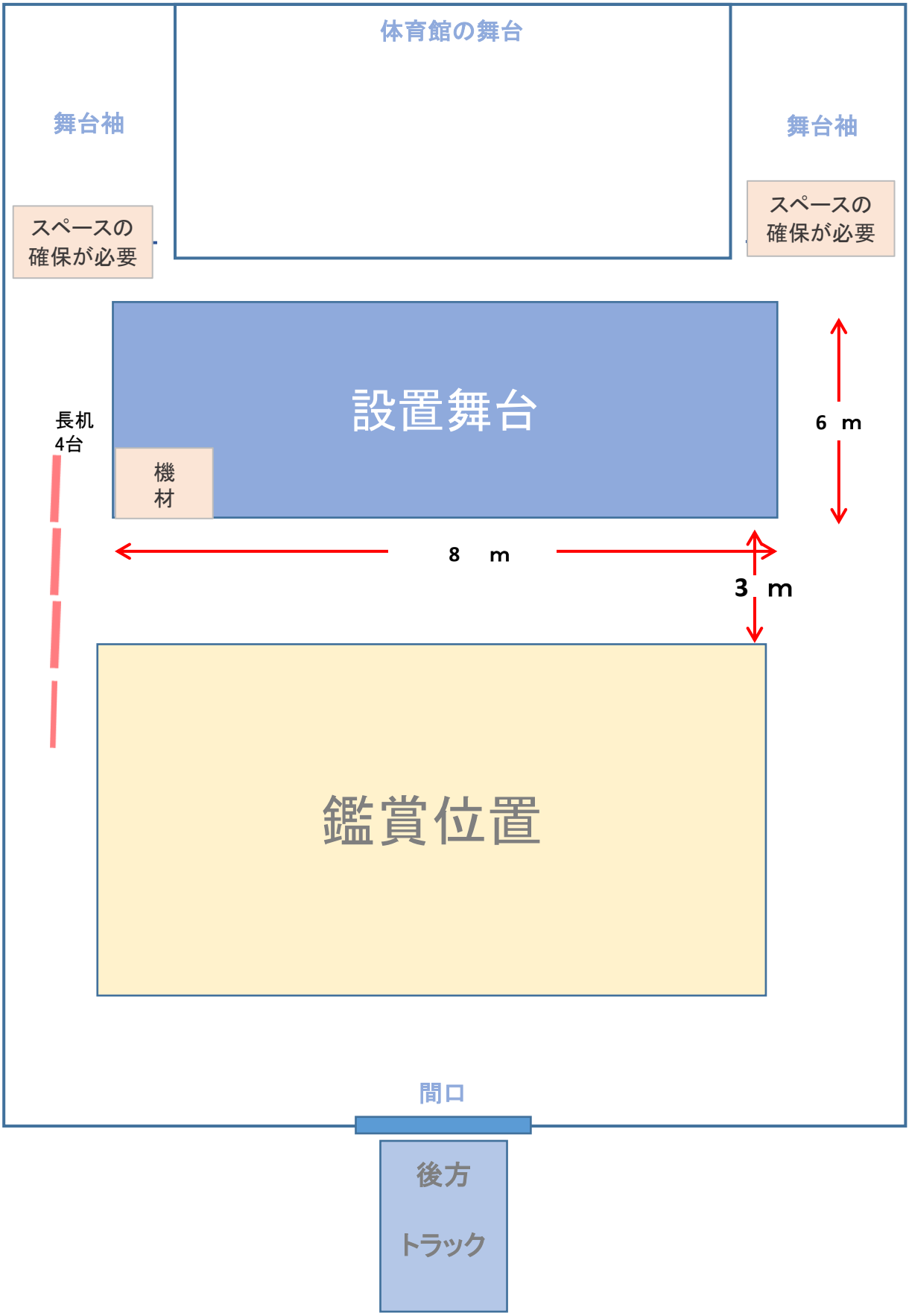
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K125	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	K	区分	C区分
公演団体名	京都フィルハーモニー室内合奏団				制作団体名	特定非営利活動法人　京都フィルハーモニー室内合奏団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	3室	条件	コンサートマスター1室，男性，女性の着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。お手洗いが近いと助かります				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	中型バス　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック1台、中型バス1台				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			大型楽器搬入のため				
	可	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m			
WSについて	可	参加可能人数			150名程度まで				
	―	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分			90分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			500名程度まで				
	不可	舞台設置場所＊			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	6m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		袖に荷物がない状態				
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	楽器に直射日光が当たらないように			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		15A（100vコンセント）	※主幹電源の必要容量				
		その他特記事項							
	不可	ピアノは本公演では使いません。ワークショップの時のみ使用いたしますが調律は不要です。							
	不可	寒い時期はストーブをお願いいたします。その時は電源の容量が多くなると思います。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業　C区分

京都フィルハーモニー室内合奏団

京フィル　検索

小学校・中学校
夢いっぱいコンサート

＜京フィルの魅力＞
◆その一・・・
子供と音楽が大好きな
メンバーばかり

古都京都に誕生して47年。子供たちを魅了する室内オーケストラとして「京フィル」の愛称で親しまれています。
「あ～楽しかった！また聴きたい！」という、子供たちの声援から生まれた熱気溢れたコンサートをお届けします。

◆その二・・・
楽しい名曲の数々

プロフィール

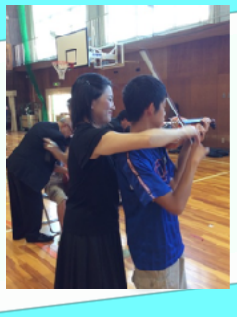
1972年に結成。本年創立47年を迎える。一人一人がソリストの個性派揃いの合奏団。「クオリティは高く、ステージは楽しく」というポリシーを持ち、クラシック音楽の他に様々なジャンルの音楽もセンスある編曲を施して演奏し、多くの聴衆を魅了している。国内外の演奏家や指揮者と共演する一方、狂言、文楽人形、津軽三味線、尺八等の日本の伝統芸能とのコラボレーションや、俳優、タレント、落語家、漫才師等の異分野との共演も積極的におこない、”挑戦する室内オーケストラ"と大好評を博している。また創立以来、活動の柱としている学校音楽観賞会では延べ3000校、190万人以上の子どもたちに 楽しい音楽を届け続けて、積極的に聴衆の育成拡大に力を注いでいる。平成2年度藤堂音楽賞。平成14年度京都新聞大賞文化学術賞。平成27年度ウィーンフィル・サントリー震災復興祈念賞受賞。平成28年度佐川吉男音楽賞受賞。社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

■ウイリアムテル序曲より「スイス軍の行進」/ ロッシーニ作曲
■楽器の紹介(弦楽器、管楽器、打楽器を順番に聞きましょう)
■アイネ・クライネ・ナハトムジークより第一楽章/モーツァルト（小学校）
　ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ作曲（中学校）
■ずいずいずっころばし/童謡(木管五重奏)（小学校）
　三つの小品より第一楽章/イベール(木管五重奏（中学校）
■交響詩「魔法使いの弟子」(ナレーション付)/デュカス作曲
■～休憩～
■【共演 オーケストラ伴奏で合唱】（先生に指揮をお願い！）
■【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】（先生に指揮をお願い！）
■ポストホルンギャロップ/ ケーニッヒ作曲
■カルメンより抜粋/ビゼー作曲
■コンサート後、弦楽器体験があります。（小学校）
　質問コーナー（中学校）

＜公演時間＞
小学校【公演時間90分】
　【弦楽器体験10分】
中学校【公演時間90分】
　【質問コーナー10分】

編成：ヴァイオリン3名、ヴィオラ1名、チェロ1名、コントラバス1名、フルート1名、オーボエ1名、クラリネット1名
ファゴット1名、ホルン1名、トランペット1名、トロンボーン1名、打楽器1名、歌手（司会）1名※指揮者はいません、

◆その三…
弦楽器の体験

----コンサート終了後、みんなで弦楽器を体験しましょう！
（中学校は質問コーナーです）----

◆そして･･･
やっぱり楽しい！
写真で見る公演風景

みんなの目の前で演奏します！

弦楽合奏

オーケストラをバック
にソリストだ！

木管五重奏

楽器の紹介

オペラ歌手の独唱

児童・生徒たちとの共演

特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
〒604-8135 京都市中京区東洞院通三条下る三文字町200　ミックナカムラ303
☎075-212-8275　FAX075-212-8277　office@kyophil.com

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ (C区分)

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　(あり) ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	きぎょうくみあいげきだんかぜのこきゅうしゅう 企業組合劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表理事　仮屋　祐一		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒814-0002　福岡県福岡市早良区西新５丁目 5-13 （最寄駅・・・・福岡市営地下鉄空港線　西新駅）		
電話番号	092-841-7889	ＦＡＸ番号	092-841-7896
ふりがな 公演団体名	げきだんかぜのこきゅうしゅう 劇団風の子九州		
代表者職・氏名	代表　仮屋　祐一		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒814-0002　福岡県福岡市早良区西新５丁目 5-13 （最寄駅・・・・福岡市営地下鉄空港線　西新駅）		
制作団体設立年月	1985 年　4 月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事　仮屋祐一 理　　事　浅野由美子 理　　事　川島二郎 理　　事　中嶌　司 監　　事　矢野ひとみ	【創造部・・・15 名】 浅野由美子、川島二郎、中嶌　司、小池勇治、玉木聡美、岩永ひろこ、井上真利、小山　隼、山口咲希、髙山洋輝、浦　美佳、寺﨑花絵、稲永清音、寺尾実里、赤瀬美桜 【企画経営部・・・6 名】 仮屋祐一、鈴木恵美、矢野ひとみ、上村　洋、田川智士、村垣洋子 加入条件等・・・18 歳以上の健康な人 （面接・オーディションあり）	

事務体制の担当	(専任) ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	**仮屋 祐一**
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	**鈴木 恵美**
制作団体沿革	企業組合劇団風の子九州は、1985 年東京の劇団風の子から運営独立し「劇団風の子九州班」として福岡市に創立され、その後 1993 年に法人独立し現在に至る。 児童・青少年演劇の制作と上演・普及活動を行っている。		
学校等における公演実績	**【2018 年度公演実績】** 小学校公演 ： 5作品149日 185ステージ 幼稚園・保育園公演 ： 8作品130日 140ステージ 子ども劇場公演 ： 8作品46日 51ステージ その他(行政、学童保育、児童館、自主公演等) ： 12作品118日 124ステージ **計 500ステージ**		
特別支援学校における公演実績	【福岡県】福岡中央特別支援学校、南福岡特別支援学校、福岡県立特別支援学校北九州高等学園、嘉穂特別支援学校、 【長崎県】鶴南特別支援学校、大村特別支援学校 【宮崎県】みなみのかぜ支援学校、赤江まつばら支援学校、清武せいりゅう特別支援学校、くろしお支援学校、児湯るぴなす支援学校、みやざき中央支援学校 【長崎県】川棚特別支援学校、希望ヶ丘高校特別支援学校、諫早東特別支援学校、諫早特別支援学校、島原特別支援学校、大村特別支援学校、鶴南特別支援学校 【沖縄県】島尻特別支援学校、宮古特別支援学校 ほか公演実績多数 【福島県】大笹生支援学校 ほか公演実績多数		

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	**DVDを提出します。 また、下記の URL からニュースに取り上げられた映像の視聴が可能です。 https://youtu.be/PBCbKqUaYfM**
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: なし PW: なし
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　劇団風の子九州　】

対　　象	小学生(~~低学年 ・ 中学年 ・ 高学年~~)　・　中 学 生
企画名	「あっかんべー！」は勇気の言葉 (「やだ、やだ あっかんべー！」公演)
本公演演目	やだ、やだ あっかんべー！
原作／作曲 脚　　本 演出／振付	作・演出 / あさのゆみこ　　音楽・効果 / 曲尾友克 美術 / あさのゆみこ 公演時間(75 分)

著作権	－	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要

【あらすじ】

山あいに住む一人暮らしのおばあちゃんの家に引っ越してきた内気な小学 4 年生の智(とも)。しかし智は本当は引越してきたくありませんでした。すごい田舎だし、お化けみたいなおばあちゃんはいるし…。

ある日、智がおばあちゃんの家を探検しているとどこからか声が聞こえてきました。おばあちゃんの独り言かなと思っていたら…!? 泥棒？おばけ？実はおばあちゃんの家には妖怪あまのじゃくのジャクが同居していました。

智と友達になったジャクですが、なんだか段々弱ってきました。その原因は裏山の開発とそこに住まう妖怪土蜘蛛が関係していました。智はジャクを救うために裏山へ走り出しました。はてさて、智はジャクを無事救うことができるのか？

【作品への思い】

かつて子供たちは群れて遊びを生み出し、人と人との関係も遊びの中で学び、ごく自然に身につけていったように思います。それは正に 生きていく力を蓄える大切な時間 。

しかし今、その大切な時間を持ちにくい社会へとますます拍車が掛けられて来ているように感じます。そしてその影響は自己肯定感の低い、心の不安定な子供たちを生み出しています。

都会での生活を送ってきた「やだやだ」が口癖、何をやってもダメと思っているこの物語の主人公・智。智は物凄い田舎に引越してきて、おばあちゃんや妖怪たちとの出会い、自然の中の生活体験を通して少しずつ強い心が育まれていきます。そしてとうとう、友だちジャクの角を取り戻すために恐ろしい土蜘蛛のところへ走り出します。

私たちはこの作品を通して子供達に、子供時代を子供らしくたくましく、困難にも真正面から立ち向かっていく勇気、生きていく希望 を感じてもらいたいと考えます。

【キーワードのせりふ】

おばあちゃん / 「よかよか。智は「智の時間」を歩いとると。人と比べてもつまらん。智がゆっくり歩きたいならそれでよか。ばあちゃんだって、ばあちゃんの時間を歩きよる。誰にも邪魔させんよ。」

(行き過ぎた競争社会にあおられて自分を見失いがちになる 子供達へ最高のメッセージ です。)

おばあちゃん / 「ばあちゃんは「あっかんべー」ってすると心がスーッと元気になると。ほれ、智もやってみらんね。」

(自己肯定感の無さから、嫌なことも嫌といえず自分の気持ちを友だちに対して、表現し

	づらい現代の子供達に送るかわいらしい 魔法の言葉「あっかんべー」。終演後はいっとき学校ではやるそうです。） **＊ 社会保障審議会推薦児童福祉文化財（舞台芸術）** **＊ 令和元年度文化芸術による子供育成総合事業−巡回公演−採択作品**
演目選択理由	＊ 最近、教育現場の先生方から不登校や保健室登校の低学年化が進んでいると聞きました。思春期に入る前から自己肯定感が少なく、友だちとコミュニケーションをとりづらい子供たちが増えてきているとの事。 主人公の智も同じで何事にも「やだやだ」が口癖ですが、物語が進行するにつけ友達のために勇気ある行動を取り始めます。智のようなおとなしい子供たちにはちょっとした勇気を、強い子たちにはおとなしい友だちへの共感を学んでもらい、コミュニケーション能力の育成を図りたいと考えます。 ＊ この事業の目的の一つ「発想力の育成」は体験や模倣から鍛えられます。子供達の感想文に「4 人だけで劇をしていたけど 10 人ぐらい人がいるように思いました。」とか、「あんな劇とか歌を 4 人でするのがびっくりしました。」とあります。この演目は、様々な役が登場しますが、4 人の俳優だけで楽しいキャラクターをスピーディーに演じ分けるために様々な仕掛けが用意されています。 また、大道具はシンプルで、センターの二畳の平台と自在に変化する 4 本の柱だけです。ある時は森の中、ある時はおばあちゃんの家にと様々な場面に瞬時に変化し、子供達の想像力を刺激します。このような驚きや刺激が 発想力の向上 の素となり、舞台芸術への興味と、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながると考えます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	＊可能であれば、二場面に出演してもらいます。（学年は主人公と同じ4年生がベスト） 場面① おばあちゃんの家に引っ越してきた智がよく一人で遊びに行く森の中。三人の俳優たちが、森の中の様子をマイムで表現しますが、その中の表現（蝶、枯葉、水溜り、コスモス、トンボ）を一緒に演じてもらいます。上限6名

<table>
<tr><td></td><td>

<u>場面②</u>　エンディング。俳優たちと一緒にテーマソングを歌い、踊ってもらいます。
<u>上限 20 名程</u>

</td></tr>
<tr><td>出　　演　　者</td><td>川島二郎、髙山洋輝、浦　美佳、寺尾実里</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　4 名
<u>スタッフ:　0 名</u>
合　　計:　4 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>マイクロバス　車長 7m
台　数　1台</td></tr>
</table>

【公演団体名　　劇団風の子九州　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(　　2 時間 30 分程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>リハーサル</th><th>本番</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>8:30</td><td>8:30～11:00</td><td>11:30～12:15
午前 4 限目</td><td>13:30～14:45
午後 5,6 限目</td><td>15:00～17:00</td><td>17:00</td></tr>
</table>
↑
＊4 時限目に出演する子どもたちとのリハーサルが入ります。
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。
**＊午前公演(前後の日程により可能)の場合は、前日3時間程度の仕込、
当日は、1 時限目リハーサル、3,4 時限目本番、15:00 搬出完了**</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ　4年生全員
本公演　場面①6名まで　場面②4年生全員(～20 名程)</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>＊出演場面の練習が主になるので、主人公と同学年の4年生に参加してもらいます。
ワークショップの流れ
① 劇団の自己紹介をします。
② リラックスするために最初にちょっとした表現ワークをします。
③ お芝居のあらすじを紙芝居仕立てで話します。
④ 二グループに分かれます。可能であれば別々の場所での練習。
☆ 場面①チーム
選抜の6名ほどと、劇中に登場する花や虫等の身体表現の練習をします。
☆ 場面②チーム
エンディングの歌とダンスの練習をします。
(ちなみに、場面①チームはこの日は歌とダンスの練習は出来ませんが、後日学校で練習して公演当日、出演することは可能です。)
⑤ 最後に、お互いのチーム毎に、この日の練習の成果を見せ合います。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>子供たちは思春期の入り口にさしかかる頃、自我の目覚めと共に他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、または人前でしゃべる、ましてや人前で演じるということに相当なプレッシャーを感じる子どももいます。そこで、演劇とは「ごっこ遊び」や「まねっこあそび」の延長であり、今回の舞台表現は「遊びとして楽しんで、思いっきり演じてほしい。」と伝えるためのワークを心がけます。

① 劇団との初めての出会いなので、お互い緊張感を取り除くために、体育館いっぱい動き回れる表現ワークを行います。
② 演目の全体像が想像出来るように、あらすじを説明して、子どもたちが登場するシーンがどのような意味合いがあるのかをイメージしてもらいます。
☆場面①チーム
セリフがない身体表現です。一人ずつ表現するのではなく、友達同士合体して</td></tr>
</table>

	表現するので、恥ずかしさも薄れ、友だちと協力して 表現する楽しさが育成できます。 ☆場面②チーム 歌とダンスを楽しく表現できるような指導を心がけます。体育館フロアーに実際の舞台の寸法を記し、客席からの登場方法、実際の踊る位置、退場の仕方なども練習して、子供達の不安を取り除く努力をします。 ③ 最後にお互いのチームで見合うことにより、相手チームの頑張りや、日常とは違う友達の表現に刺激を得て、自分や自分たちのチームを省みることになり、本番当日までの練習に やる気を持って向かうことが出来るようになります。
特別支援学校での実施における工夫点	二回の体験場面は原則として実施できるように工夫しますが、各校、各子どもたちにより被支援の状況が異なるので先生方と綿密な打ち合わせを行い、表現方法の可能性を探っていきます。例としては、全員で鳴り物を持ってリズムをとりながら歌い、先生方が車椅子に一人ずつ付いての車椅子ダンスを披露したこともあります。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

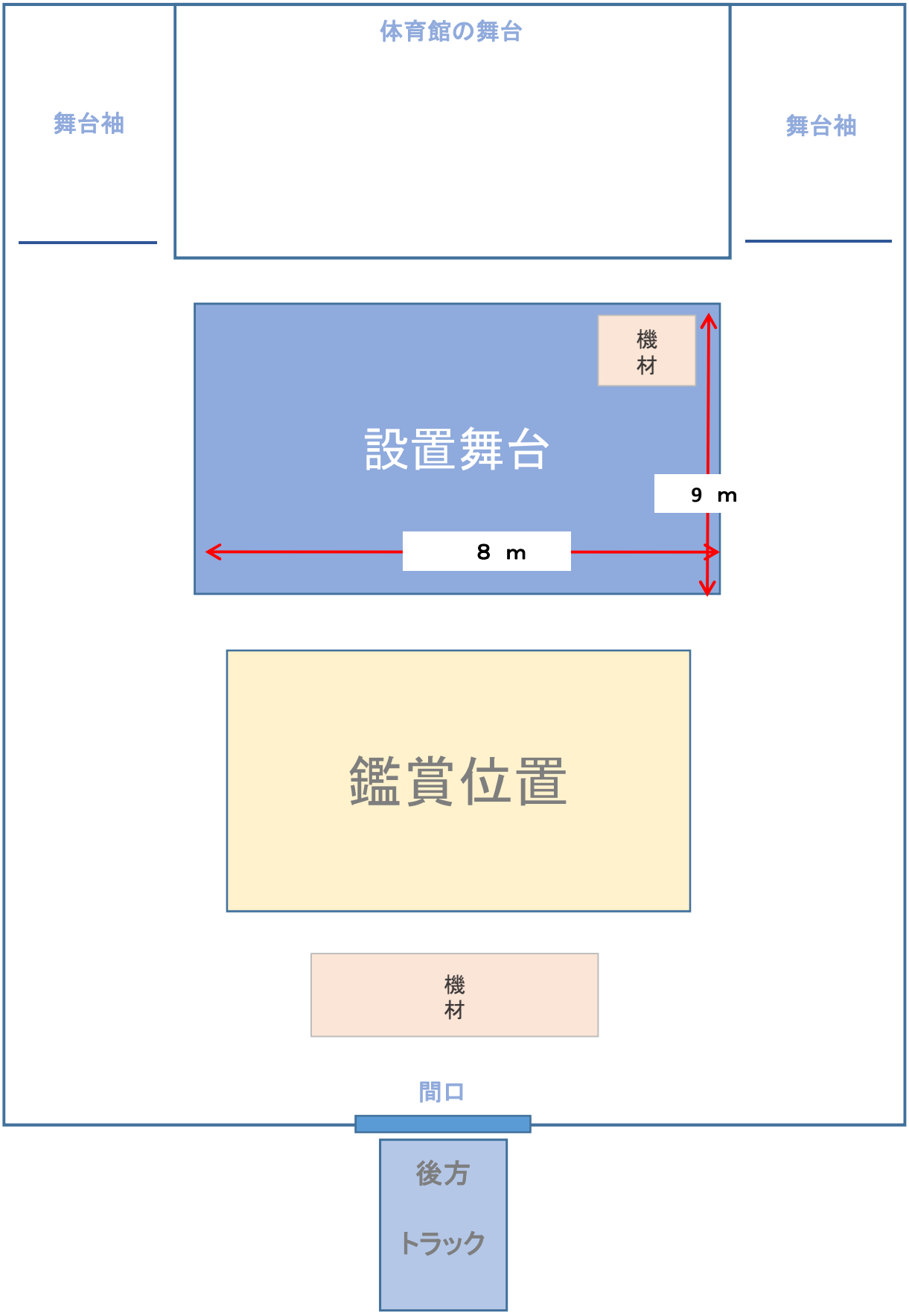
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K124	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	K	区分	C区分
公演団体名	劇団風の子九州				制作団体名	企業組合　劇団風の子九州			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	体育館ステージが控室として使用できない場合は1室必要です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			中型バス　1台				
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			マイクロバス（長さ6.99、幅2.03、高さ2.58）m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			・雨の場合、道具が濡れない経路が望ましい。				
		理由			音響器材、照明機材、大道具等がある為。				
	可	設置階の制限＊			問わないが、1階が望ましい。				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m		高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数		40名程度まで					
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	小学校4年生			
	可	所要時間の目安 単位：分		85分程度（途中休憩あり）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		200名程度まで					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	9m	高さ	3m	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	着替えられるスペースがあれば良し					
	可		緞帳＊	無くても可能	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	完全遮光でなくても公演可能。一部分でも構いません。要相談。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

感想文

すごく、かんどうしました。はじまったときに、おどりがおもしろかったです。ともおねえちゃんとじゃくが、すごかったです。（1年生・男子）

心にのこったとこは、うたがこころにのこりました。（2年生・男子）

さい初は、どんなげきがあるのかワクワクしていました。すごく面白いげきでした。おばあちゃんと、じゃくが一番面白かったです。土ぐもは、最初コワイイメージだったけど、本当はやさしいんだなぁと思いました。終わった時、また見たいなと思いました。（3年生・男子）

ぼくが、一番心に残った場面は、ともちゃんが、じゃくの角を命がけで取ってきて、じゃくを助けるところです。なので僕もこまっている人がいたら、ともちゃんみたいに助けてあげたいです。（4年生・男子）

私は「あっかんべぇーをすると負けない気持ちになるんだよ」というおばあさんのセリフを聞いて、「これだ！」と思いました。くやしいけどあきらめようという時はたくさんあります。そんな時でもあっかんべぇーをして負けないぞという気持ちになろうと思いました。来年も来てください。（5年生・女子）

女の子は、学校にあんまり行ってなかったけど、鬼の角を友達と一緒に取り戻して、最後は、学校にいってみようかなといったのが、心に残りました。（6年生・女子）

一人の人が色々な役をこなし、台詞覚えも大変なことだろうと思いました。子ども達への劇ですが、人に対する思いやり、優しさもメッセージとして込められていたし、人の生き方までも示されていたなあと思いました。また、人と自然との共存ということもテーマだったのではないかなあと思いました。今日は、何かわかりませんが、最後のほうでは感動してしまい、自然に涙が出てしまいました。一年生の子ども達もすごく楽しんでいました。（先生・女性）

劇団紹介

■日本児童・青少年演劇劇団協同組合加盟　■全国児童・青少年演劇協議会加盟
■アシテジ（国際児童青少年演劇協会）加盟

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠を置く児童青少年演劇の専門職業劇団です。

“子どものいるところ、どこへでもとんでいく”を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島を駆け回ってきました。

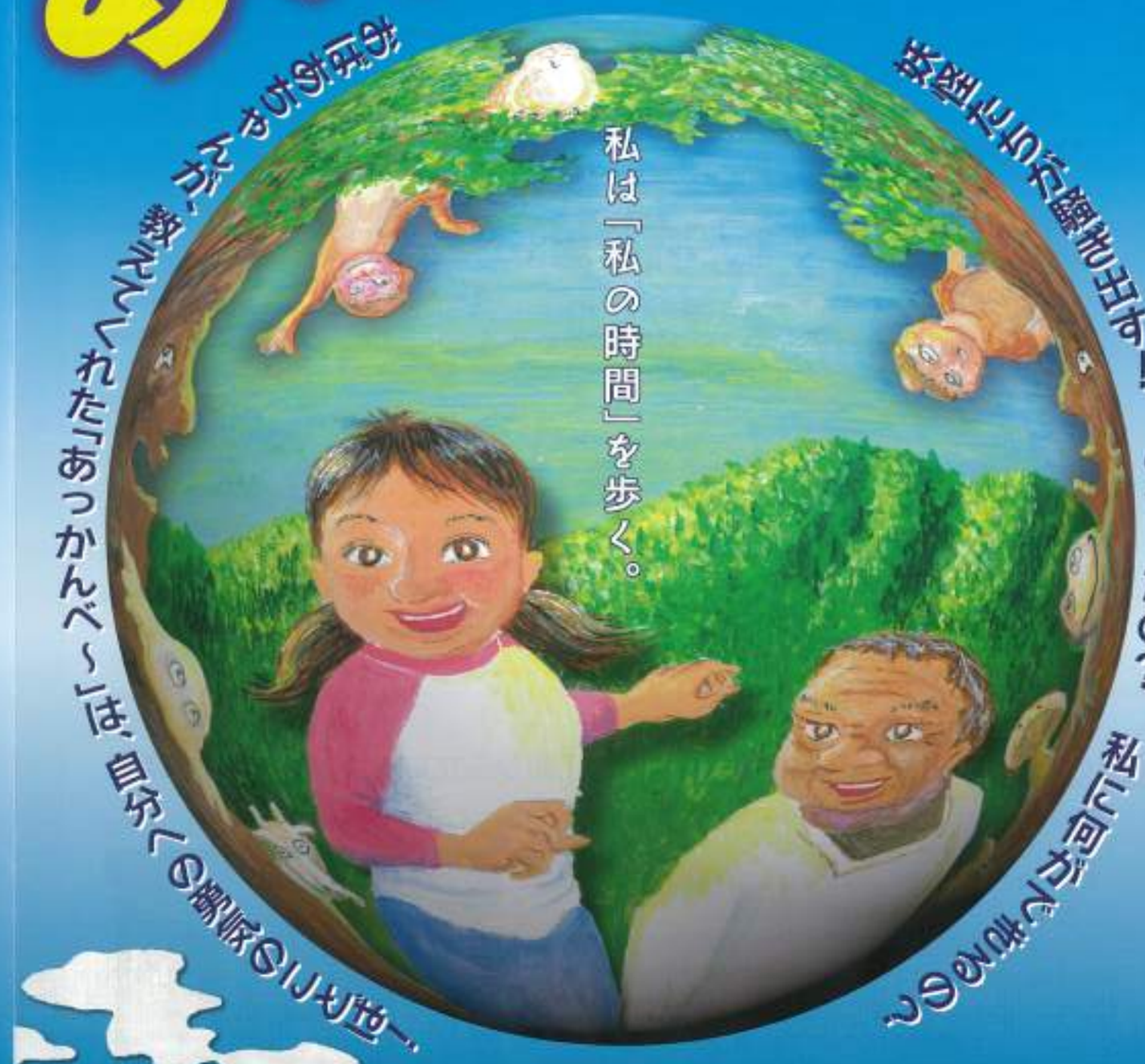
’90年からは国内だけでなく、韓国、中国、インドネシア、パキスタン、インド、オーストラリア、シンガポールなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人達との交流を深めてきています。

2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演作品「マンナム」を創り上演してきました。アシテジ（国際児童青少年演劇協会）の国際フェスティバル in ソウルでは日本代表としても参加しました。

これからも地域で、“子どもたちと共に未来を創る劇団”として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。

劇団風の子九州
〒814-0002　福岡市早良区西新5-5-13
TEL092-841-7889 FAX092-841-7896
ホームページ：http://www.kazenoko-kyushu.or.jp
E-mail：info@kazenoko-kyushu.or.jp
■北海道事務所011(726)3615■東北事務所0241(23)0612■首都圏事務所042(652)1001■中部事務所058(215)7780■関西事務所075(957)0552■中四国事務所082(870)0215

やだ、やだ あっかんべー！



劇団風の子九州

作・演出／あさの ゆみこ　音楽・効果／曲尾 友克　美術／あさの ゆみこ　制作／矢野 ひとみ

やだ、やだ あっかんべー！

あらすじ

山あいに住む一人暮らしのおばあちゃんの家に、引っ越してきた小学校４年生の女の子智。でも智は引っ越して来たくありませんでした。すごい田舎だし、お化けみたいなおばあちゃんはいるし…。すこし内気な智は、おばあちゃんとも転校したばかりの小学校にもなじめず、学校に行かなくなってしまいました。ある日、おばあちゃんの家を探検していると、声が聞こえます。「おばあちゃん、年だから独り言がおおいのかな？」と、思っていたら、独り言じゃなかったのです。泥棒？ お化け？

不思議なおばあちゃんと謎の同居人。そして裏山にはまだまだ、なにか潜んでいるようです。それは、妖怪…。ひょんな事から、その妖怪を救うことに!?

はてさて、内気な智は妖怪を救うことができるのか？ さあ、冒険のはじまりはじまり！

演出の思い

最近、『自己肯定感』という言葉をよく耳にします。「自分はかけがえのない存在」と思える気持ちのことだそうですが、今、この『自己肯定感』が低くなってきていると言われています。私は中高生と出会う機会がありますが、一人一人の『自己肯定感』の高い、低いがわかるわけではありません。でも、この頃、不安定な子どもたちが多くなってきているように感じます。心の中が満たされていないような、ポッカリ穴が開いているような。そして、誰かに自分を認めてほしいと思っている。この物語の主人公もそうです。なにをやってもダメと思っている智は、体験をすることで強くなっていきます。私たち大人や社会が、子どもたちの体験を奪わないようにしたいものです。そして、体験を通し、ありのままの自分を受け入れ、「私の時間」を歩いてほしいと願っています。

あさのゆみこ

制作にあたって

困難にも真正面から立ち向かっていく勇気を!!

異年齢で、毎日のように外遊びする子どもたちの姿が見られなくなってきたと言われ始めておよそ四半世紀以上は経つでしょうか。

競争社会の波にのまれ、ますます塾や習い事に忙しく、合間の時間を利用し、ゲーム機に没頭する子どもたち…

かつて群れて遊びを生み出し、人と人との関係作りも遊びの中で学び、自然と身に付けていったように思います。それは、まさに生きていく力を蓄える大切な時間。その大切な時間が、ますますできにくい社会へと、より拍車がかけられてきているように思います。

子ども時代を子どもらしく、たくましく、困難にも真正面から立ち向かっていく勇気、生きていく希望を、この作品を通して感じてもらえたらと思います。

矢野ひとみ

内気な女の子、智ちゃん。
転校してきた学校には、なかなかなじめません。
行きたくない…。

ある日おばあちゃんの部屋をのぞいて見ると…
どこからともなく声が…
誰？どろぼう？？

おばあちゃん家の裏山にひそむ妖怪きつねのゴン姉さんとサトリ

裏山にひそむ妖怪土蜘蛛。
２人の運命は…？

キャ～～
気持ち悪い～～
何笑ってるの～～？

そう～っとそう～っと
気をつけて!!

何やら見つけたゴン姉さん。
いったい何をするつもり…

この作品に登場する妖怪たち

サトリ

獣のような姿の妖怪。読心術のように人の心を見抜いて話しかけてくる。

あまのじゃく

悪鬼神、小鬼。物まねがうまく他人の心を探るのにたけている。

狐

人間に化けたり、人に乗り移って病気をもたらしたりする。水藻や木の葉や馬の歯などを頭に載せて化ける。

人面樹

山中にあってその花が人の顔に似ており、しきりに笑うが、笑うと落下してしまう。

カッパ

川や池などの水界に住む。妖怪の童子の姿としておかっぱ頭に皿のようなものがあって、そこにいつも水をたたえている。

百鬼夜行図鑑より